

## 社員のエコシップ向上を図るとともに、お客様と環境を考える活動に取り組んでいます

### 社員のエコシップ向上に向け、環境教育を行っています

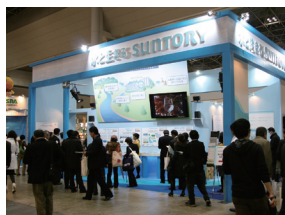
環境経営を推進していくためには社員一人ひとりの環境に関する知識と意識の向上が欠かせません。サントリーでは入社時研修のほか、環境マネジメントシステムの一環としての職場研修の実施など、さまざまな環境教育を実施しています。また、社内イントラネットを活用し、環境に関する基本知識の共有を行うとともに、「環境月間」(6月)、「水の日」(8月)、「3R推進月間」(10月)など、主要な環境関連月間の告知を行うなど、オフィスや家庭でできる身近な取り組みを紹介し、社員の環境意識を啓発しています。

### ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを大切にしています

環境に関するダイアログの開催に加え、お客様コミュニケーションセンターへのお問い合わせなど、さまざまなかたちで皆様のご意見・ご要望をいただきながら目標および活動の改善につなげています。また、CSRレポートの発行、ホームページや環境イベントなどを通じた環境情報発信を積極的に行っています。



ホームページ「環境への取り組み」 「エコプロダクツ 2007」に出展で環境活動を紹介



### 次世代に向けた環境教育を強化しています

かけがえのない豊かな自然環境を次世代に引き継ぐためには、次代を担う子どもたちに自然環境を守ることの大切さを伝えていくことが重要だと考えています。サントリーでは、自然体験型学習「森と水の学校」、サントリー独自の学習支援プログラム「水育」の展開をはじめ、工場での「親子見学会」や環境学習用教材「エコキッズノート」の発行など、次世代環境教育の支援に力を注いでいます。

#### 「森と水の学校」

「森と水の学校」は、サントリー「天然水の森」を中心として展開する、こどもたち対象の森と水(自然)をテーマにした体験学習です。森の散策や自然体験などを通じて、水を育む森のしくみや環境を守ることの大切さを伝えていきます。2004年阿蘇校(熊本県)での開校以来、白州校(山梨県)も加えて約7,000名の親子が参加しています。2008年からは奥大山(鳥取県)でも開校する予定です。



「森と水の学校」

#### 「水育(みずいく)」

水の大切さを知ってもらうため、2006年から「水」をテーマにした体験型学習「水育(みずいく)」を開始しています。これは、サントリーが独自に開発した学習支援プログラムで、小学校4～6年生を対象に学校の教育現場で行う「水育」出張授業(開始以来90校以上で実施)や、工場などでの「水育」親子イベント、ホームページ上での情報発信を中心に展開しています。



「水育」出張授業



エコキッズノート